

美しい山形・最上川フォーラム庄内地域事業  
「さくら見守隊 入門講座」  
実施状況報告書

- 1 日 時 平成19年3月10日(土) 午前10時～16時
- 2 場 所 (講 義)酒田市地域福祉センター2階大会議室  
(実技研修)新井田川(新橋地域)沿いの桜並木
- 3 参加者 酒田市、鶴岡市、三川町から自治会関係者など50名が参加
- 4 入門講座の概況

心のふるさと新井田川の会会長 原田清廣氏の司会で進行した。

(1) あいさつ

主催者あいさつ 庄内地域代表 菅原幸司 氏

- ・ 山形県は、桜の名所に囲まれた恵まれた土地であり、最上川フォーラムではこうした桜をより一層見事なものにしていくため、桜街道づくりに取り組んでいる。



フォーラム事務局あいさつ 長谷川事務局員

- ・ フォーラムの活動状況や最上川フォーラム地域組織の設置の趣旨などについて説明があった。
- ・ また、19年度の桜の植栽箇所を募集中であることもPRされた。

(2) 講義 山形県みどり推進機構 枝松班長

最初に、フォーラムが進めている「夢の桜街道 づくり」の概要について説明があった。

- ・ 県内にはかなりの本数の桜が植栽されている。また、古木、巨木も結構な本数ある。こうした桜を適切に管理し、より発展させ、地域の活性化にもつなげ

ていくのが桜街道の目的であり、その推進のため、平成 15 年度にランドデザインを策定した。

- ・ 山形の桜のランドデザインの柱は、桜の植栽、桜の維持管理、研修などを通じた桜守の育成の 3 つである。
- ・ こうしたことから、フォーラムではこれまでも技術研修会を開催してきたところである。



続いて、桜をより楽しむための知識から、維持管理のための基礎知識について、テキストに基づき、丁寧な説明を受けた。

- ・ さくらの語源について  
桜の語源については諸説あるが、代表的な 3 説を紹介いただいた。
- ・ 花見の起源について  
現代の花見は、貴族文化と農民文化が融合したものと考えられ、こうした風習があるのは日本だけである。  
現在の花見のスタイルは、江戸時代ころにできたものと思われる。
- ・ 全国の桜の名所、名木について  
明確な名木の基準はないが、山梨県武川村の山高神代桜、岐阜県根尾谷の薄墨桜、福島県三春町の三春滝桜がベスト 3 と言われている。  
なお、幹の太さを基準にした桜 10 選があり、長井市の久保桜、草岡の桜がこれに入っている。
- ・ 桜の特性や種類について  
桜の分類、植生分布について説明を受けたほか、様々な桜の種類について図を交えて講義をいただいた。  
春と秋の 2 回咲く桜や、テング巣病に罹りにくい種類もある。
- ・ 桜の植栽方法や維持管理方法について  
(植栽)  
桜の植栽に適した箇所は、日当たりが十分で、十分に枝や根が張れるだけの空間があり、適度に湿り気があって排水も良い肥沃な土地。無理して植えても枯れるだけである。  
特に、樹種によって根の張り方が異なるので注意が必要。

(維持管理)

“桜切るバカ”という言葉があるが、適切な剪定はむしろ必要。こうしたことを始めたのは弘前である。弘前の桜守の努力があって、あの見事な桜の名所が出来上がった。

分かりやすく例えると、背丈より低い無駄な枝がカットしたほうが良い。実施時期は、落葉している間(秋～冬)。

質疑応答

- ・剪定を始める時期は？

5～10年の間に桜の原形をつくる必要がある。その時期を過ぎると形は変えられなくなる。

- ・山形に適した桜の種類は？

水蒸気の多い土地はテング巢病に罹りやすい。また、風の強いところも生育しない。庄内ということでは、陽光、小松乙女、大島桜、サトザクラなどが良いのではないか。

3 実技研修

生育が思わしくない新井田川近隣の公園の桜の根元を実際に掘り起こし、根の張り具合、土の状況などを調査しながら、適切な植栽方法について説明を受けた。



- ・実際に、根元の土をすくって、ペーハーなども測定してみた。



続いて、JR羽越線と新井田川の交差付近に移動し、うっそうとしていた桜並木の剪定実技を行った。

- ・ 参加者には、実技用ののこぎりや殺菌剤などを支給し、実際に枝松氏から指導を受けながら、剪定作業などに当たった。



- ・ あわせて、造園業者に委託し、高所あるいは太い幹の剪定を行い、適切な桜の維持管理を実施した。



- ・ 切り取った枝については、全員で回収と運搬作業を行い、処分については酒田市の協力で無償で実施していただいた。



#### 4 その他

- ・ 会場の福祉センターには、第3回写真コンテストの入賞作品15点、心のふるさと新井田川の会の活動パネルを展示した。
- ・ 心のふるさと新井田川の会からは、今回の事業の事務局として、多大なる御尽力をいただいた。



- ・ また、地元酒田市には、無償で会場やバスをお貸しいただいたほか、剪定した枝の処分についても多大なる御協力をいただいた。



## 5 結び 心のふるさと新井田川の会会長 原田清廣氏

- ・ 桜に関心を持つことから始め、徐々に力をつけながら、組織的に活動できるようになっていきたい。今回は入門編であったが、また次回を企画し、ステップアップしていきたい。
- ・ 御参加いただいた皆様には、今後とも身近な桜の手入れをよろしくお願ひしたい。

(終了) 午後4時